

Ⅱ 発泡酒製造業

(1) 製造業者数

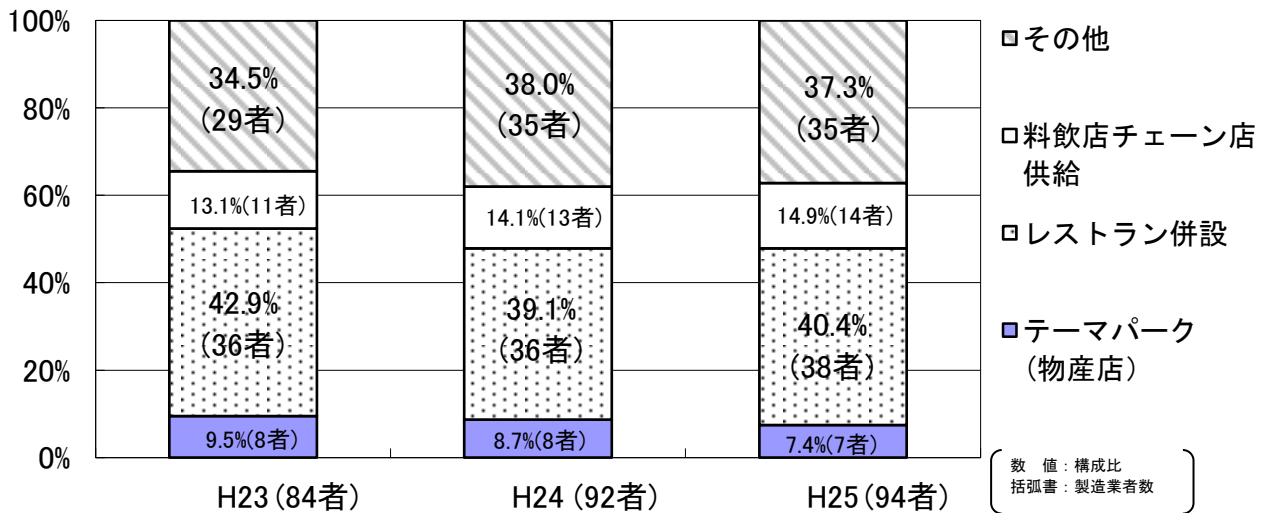
調査対象製造業者数は125者、回答者数は94者（回収率75.2%）であり、このうち91者（96.8%）が中小企業者（注1）である。

調査対象製造業者による販売形態別では、レストラン併設形態が38者（40.4%）と最も多く（図表12）、専業割合別では専業割合（注2）10%未満の者が57者（60.6%）であり（図表13）、製成数量規模別では10klに満たない者が58者（61.7%）となっている（図表14）。

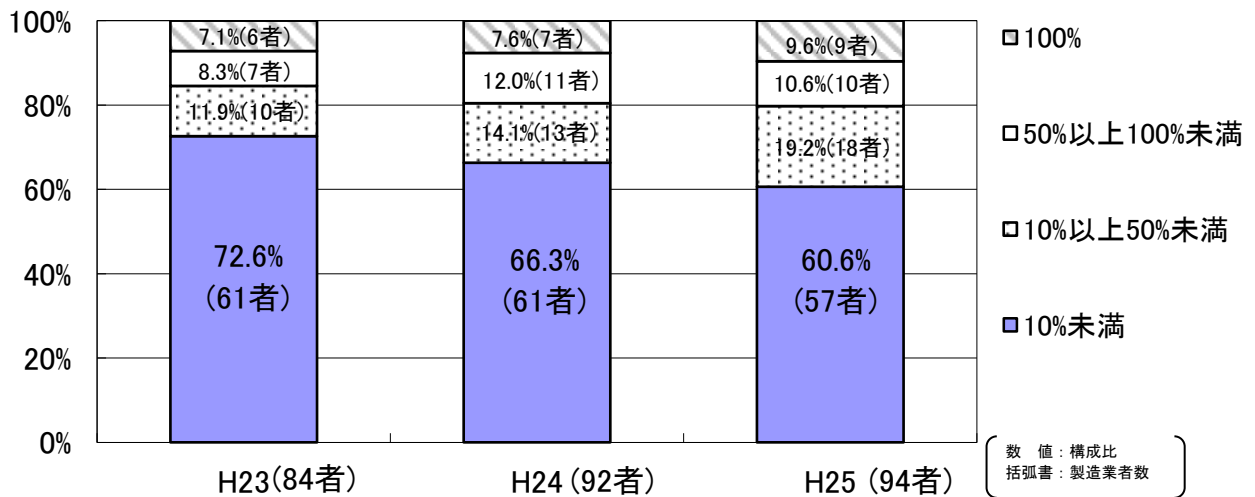
（注1） 資本金3億円以下の法人並びに従業員300人以下の法人及び個人をいう（中小企業基本法第二条第一項第一号）。

（注2） 総売上高に占める発泡酒の売上高の比率である。

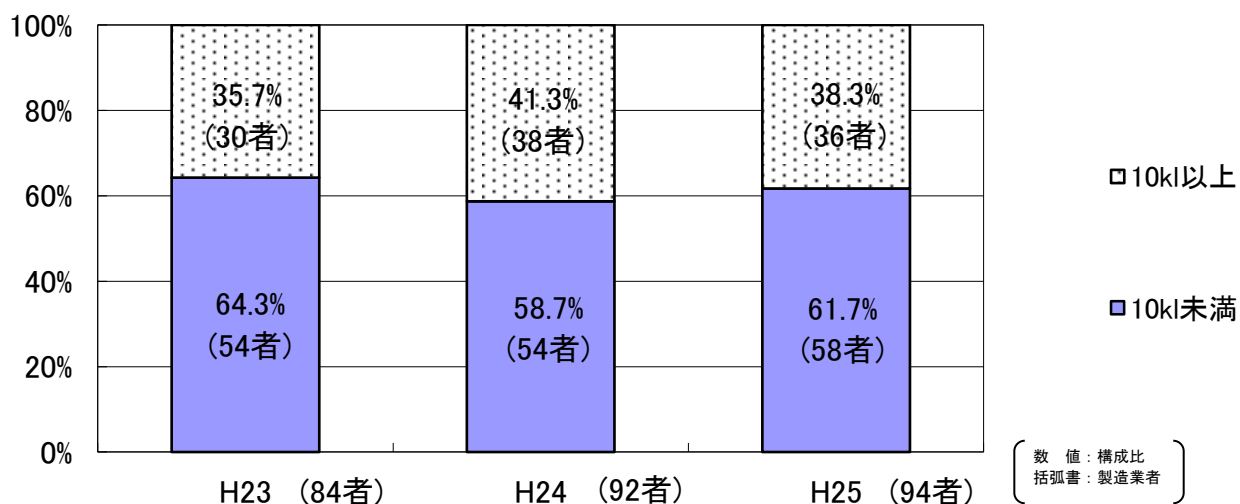
図表12 販売形態別構成比



図表13 専業割合別構成比



図表14 製成数量規模別構成比



(2) 経営状況

発泡酒事業の売上高は、1者当たり23.7百万円(回答者合計で2,228百万円)であり、前年と比較して、1者当たりの売上高が348万円(17.2%)増加している。

営業利益の額は、1者当たり150万円(回答者合計で141百万円)であり、前年と比較して、1者当たりの営業利益額が17万円(12.8%)増加している。(図表15)。

図表15 経営状況

(単位：者、百万円)

区分	企業数	売上高	売上総利益	営業利益
H23	84	(15.2) 1,276	(6.2) 522	(0.7) 58
H24	92	(20.2) 1,860	(8.8) 814	(1.3) 122
H25	94	(23.7) 2,228	(10.3) 971	(1.5) 141

(注1) 発泡酒製造業に係る計数のみ掲げている。

(注2) 括弧書は1者平均値である。

販売形態別の1者当たりの経営状況を前年と比較すると、「料飲店チェーン店供給」区分では営業利益が増加している(図表16)。

図表16 1者当たり販売形態別経営状況

(単位:百万円)

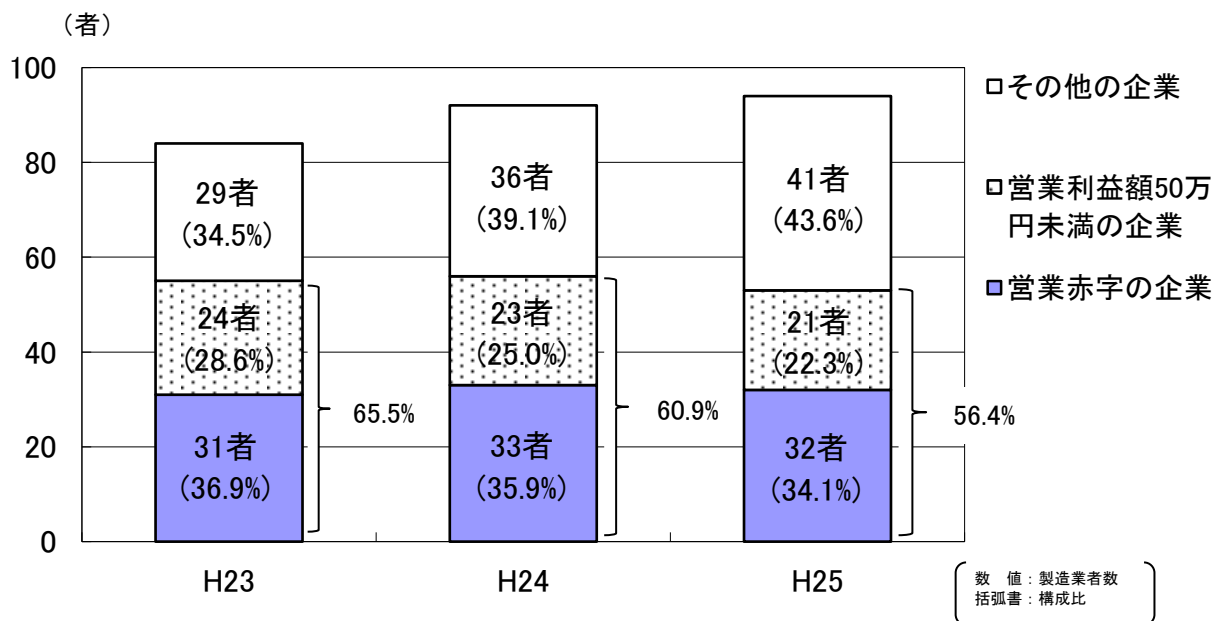
区 分	テーマパーク (物産店)					レストラン併設				
	H23	H24		H25		H23	H24		H25	
		対前年比	対前年比	対前年比	対前年比		対前年比	対前年比		
売 上 高	3.0	3.1	103.3%	2.6	83.9%	16.6	18.1	109.0%	19.4	107.2%
売上総利益	1.7	2.0	117.6%	1.4	70.0%	7.9	9.3	117.7%	9.8	105.4%
営 業 利 益	△ 0.7	1.2	—	0.4	33.3%	1.2	1.6	133.3%	1.1	68.8%
区 分	料飲店チェーン店供給					その他				
	H23	H24		H25		H23	H24		H25	
		対前年比	対前年比	対前年比	対前年比		対前年比	対前年比		
売 上 高	11.8	11.9	100.8%	13.3	111.8%	18.0	29.4	163.3%	36.7	124.8%
売上総利益	6.5	6.9	106.2%	8.3	120.3%	5.2	10.7	205.8%	13.5	126.2%
営 業 利 益	0.7	1.1	157.1%	1.2	109.1%	0.5	1.2	240.0%	2.3	191.7%

(注1) 発泡酒製造業に係る計数のみ掲げている。

(注2) その他の販売形態には、主なものとして酒類卸売業者に販売している者が含まれる。

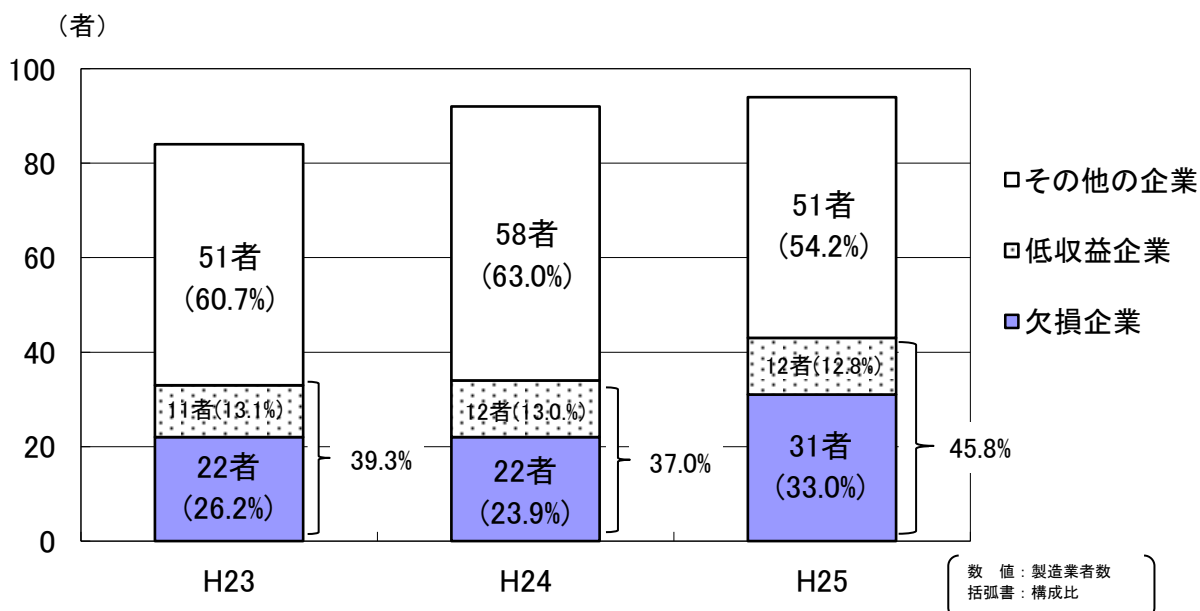
発泡酒事業に係る営業利益をみると、営業赤字となる企業の割合が減少しており、営業利益額50万円未満の企業を含めた割合も、前年と比較して減少している(図表17)。

図表17 発泡酒事業の営業赤字及び営業利益額50万円未満の企業数の推移



企業全体の税引前利益(発泡酒事業以外を含む。)をみると、前年と比較して、欠損企業数の割合が増加している(図表18)。

図表18 欠損及び低収益企業数の推移



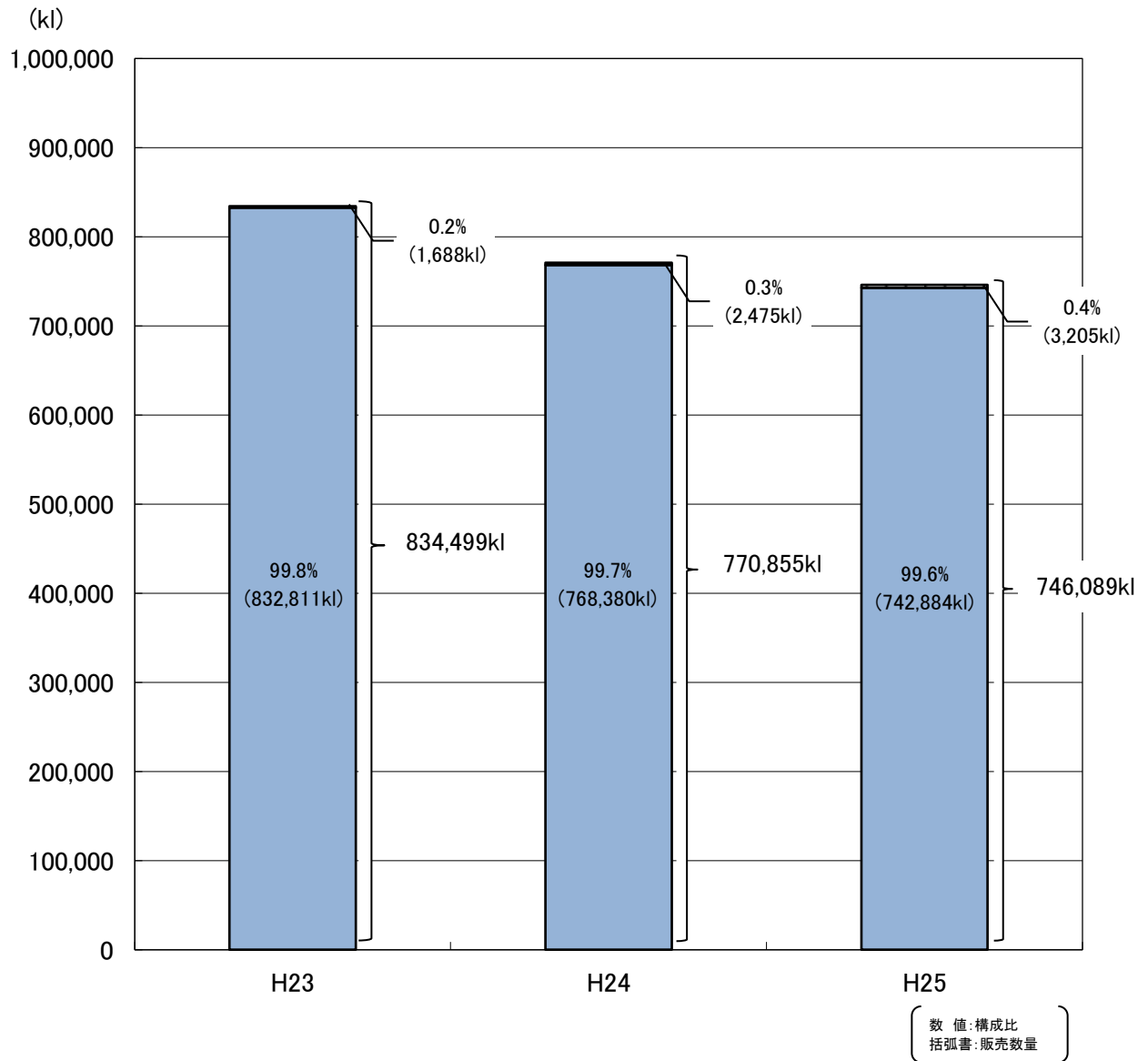
(注1) その他の事業部門を含めた事業全体に係る計数である。

(注2) 低収益企業とは、税引前利益額が0円から50万円未満の企業をいう。

(3) 販売数量

平成25年度の発泡酒の販売数量は746,089klであり、前年の770,855klに比べ24,766kl(3.2%)減少している。このうち、提出のあった地ビール等製造業者のシェアは0.4%であった(図表19)。

図表19 販売数量



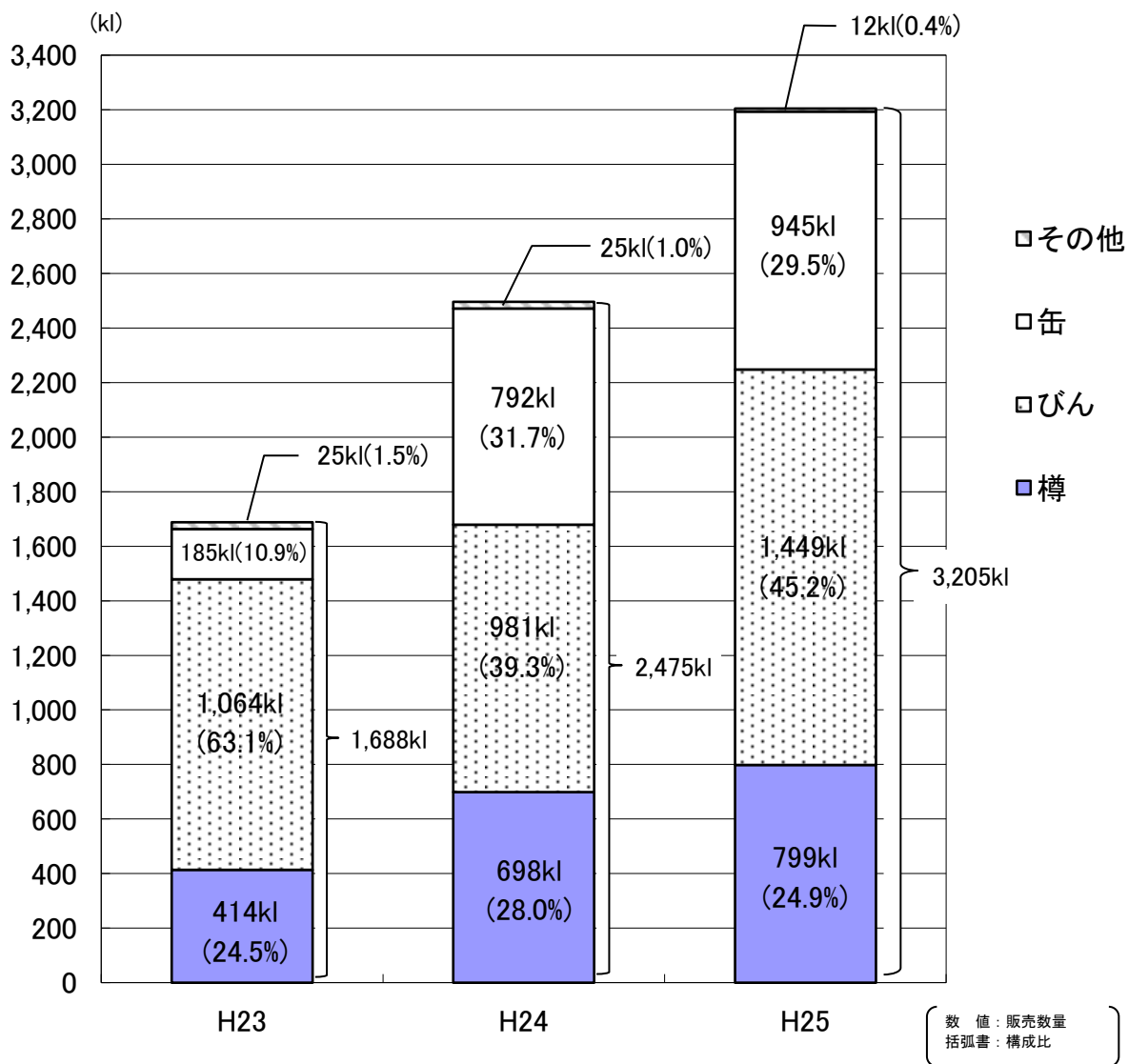
(注1) 発泡酒の販売数量は、国税庁統計年報による。

(注2) 地ビール等製造業者の販売数量は、回答者の販売数量の合計値であり、シェアは推計値である。

(4) 容器別販売状況

容器別の販売状況を見ると、びん製品の割合が全体の45.2%と最も多い割合となっている(図表20)。

図表20 容器別販売数量

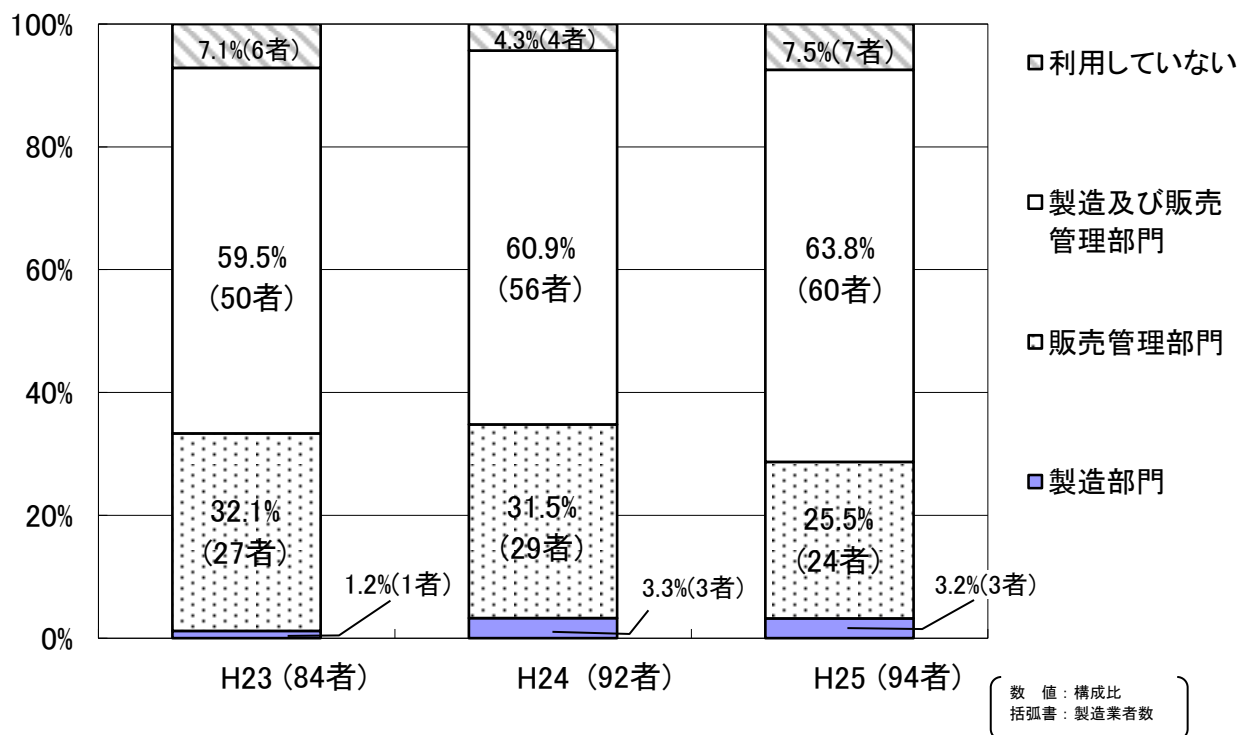


(4) 情報化の状況

コンピューターの利用状況は、製造及び販売管理の両部門で利用している者が、全体の63.8%と、最も多くなっている(図表21)。

ホームページは、90.4%の者が開設している(図表22)。

図表21 コンピューターの利用状況



図表22 ホームページ開設の有無

